**埃森哲 ES**

**どのような軸で就職活動を行っていますか 400字**

私は「お客様に近い距離で支援できること」と「若いうちから成長できる環境がある職場」の2点を就職活動の軸に置いている。  
　このような軸を置いた背景に、進学塾で進学指導のアドバイザー営業のアルバイト経験がある。私は担当する学生に対し、学生の希望や将来やりたいことにあわせて学校を提案し、志望校に合格するまでの過程を支援してきた。このような経験から、ビジネスの世界においてもお客様に近い距離でお客様へ貢献していきたいと考えるようになった。   
　また、私は学生時代に常に困難に挑戦し、主体的に行動し、そこで成果を出し自己を成長させてきた。そのため、若手の内から幅広い分野に携わることができ、個人の能力や知見を高める機会が多く得られる環境が大事だと考えた。

この軸を元に、特に経営課題の解決に向けて立案から遂行まで一気通貫で支援するビジネスコンサルタントに魅力を感じ、コンサルティングを中心に選考を受けている。

**「未来のアクセンチュアに必要なDNA」のうち共感できるものを1つ選んでください。**

文本

描述已自动生成  
**上記を選択した理由をご自身の経験をふまえて記述してください。400文字以上600文字以下**

写机械工厂的例子。主要点在于，我为了解决问题、做成这件事，不辞辛苦，去学习我不会的东西，并反复修改达到最佳。

大学時代、レーザー彫刻機会社の長期インターンシップにおいて、前向きに挑戦することによって、販売促進企画を成功させた経験である。

当時の課題として、既存の集客方法では顧客に商品の魅力が伝わらず、競合他社との差別化ができないため、売上が伸び悩んでいることが挙げられた。私は部内で会議を開き、既存の宣伝方法を、製品の良さを分かりやすく表現できる動画に変えることにした。

動画を制作するにあたり、直面する困難点が2点あった。1つ目は、より魅力が伝わるように機械の細かい違いを理解する必要がある。2つ目は、動画撮影や編集をした経験がなくゼロから学ぶ必要がある。この２つの困難点を解決するために、以下の施策を打ち出した。

まず毎日工場の現場に行き、製品の特徴や製作者の思いをよく理解した上で動画のセリフを作成した。その後、他社の動画を参考に、優れた撮影や編集手法を学び、自社の宣伝動画制作に落とし込んだ。出来上がった動画を、異なる部署の同僚に見せてコメントや提案をしてもらい、修正を繰り返した。

その結果、動画が社内で反響を呼び、さらに32名の新規顧客の獲得に繋がり、レーザー彫刻機10台の販売に貢献した。今でも、その会社では動画がプロモーション手法として使用されている。

このように、困難に立ち向かいチャレンジし続けた経験から、貴社の「未来のアクセンチュアに必要なDNA」のうちの「チャレンジに手加減しない」に大変共感できる。 **アクセンチュアを「社員一人ひとりが夢を実現するプラットフォーム」と捉えたとき、あなたはアクセンチュアで何を実現したいですか。また、その理由について、あなた自身の経験や価値観を踏まえて記述してください。**400文字以上600文字以下

私は、「テクノロジーの力でお客様のビジネスをサポートしたい」という思いから貴社の経営コンサルタント職を志望する。

大学時代、父が経営していた会社においてITシステムの導入により、業務効率化と生産性向上により、経営課題が解決できたのを目の当たりにし、テクノロジーがビジネスに高い付加価値を与えることに強く魅力を感じた。この経験から、テクノロジーの力で世の中のビジネスを支援できる職業に就きたいと考えるようになった。

中でも、この夢は特に貴社で実現できる理由として、貴社が幅広い業界知見や最先端のデジタルテクノロジーといった専門性を持ち、ビジネスの改革と成長を支援する総合的なコンサルティングサービスを提供しているため、貴社が最適な環境だと考え、志望した。

入社後、まず、社内研修やOJTを通じ、コンサルタントにとって必要な知識や技術を身につける。その後、アルバイトや長期インターンの経験で培った課題解決力を活かし、若手コンサルタントとしてプロジェクトにアサインされ、幅広い分野の業務を経験し、能力やスキルを積みたい。将来は、テクノロジーの力で根本からお客様の業務を支援できるコンサルタントへと成長したいと考えている

第1志望の職種を選択してください【第1志望】  
※最大4職種までエントリー可能です。

文本, 信件

描述已自动生成

**第1志望の職種を選択された理由をお聞かせください　200文字以下**

**ビジネスコンサルティング**

お客様のビジネスをサポートしたいという強い思うがあるからだ。

私は進学塾のアルバイト経験で、アドバイザー営業として学生の進学をサポートしてきた経験から、お客様の悩みに耳を傾け、経営課題の解決を一気通貫で支援するビジネスコンサルティングにやりがいと魅力を感じた。また、若手のうちから、企業の難題である経営課題に向き合い、経営者と対等に渡り合う機会が得られるこの職種は、早いスピードで成長できると考えた。